

防災・救命講習

3月6日（日）10:00～11:30 北区赤羽消防署で「防災・救命オンライン講習会」を開催しました。参加者は17名でした。

前半は、フィクションドキュメンタリー「荒川氾濫」の動画を見たあと、地域防災担当の柳係長より「水災の備え」についての講話がありました。後半は、寺山さんからAEDを使用した心肺蘇生の一連の流れを、実技を交えながらご指導いただきました。



柳係長

命を守るために

- ① ハザードマップ、防災情報を入手できるツール、非常持ち出し袋 を必ず準備しておこう。
- ② 住んでいる地域の危険性を把握しておこう。
- ③ 「避難指示」が発令されたら、必ず避難しよう。

避難生活の体験

高校生の時に阪神淡路大震災で被災し、避難生活を体験した。初日はまだ、互いの遠慮や緊張があるが、狭い空間で多人数が密集するため、日ごとに混沌としてくる。我の強い人、自分の都合のいい事だけを主張する人も出てくる。食料の支給があっても、対応が遅れる場合や充分でないこともあるだろう。ライフラインに影響があった場合一番困るのは水。避難生活は事前に準備していても、想像以上に大変つらい生活になります。



寺山さん

AEDと胸骨圧迫

AEDとは心臓が痙攣して血液を流す機能を失った状態の時に、心臓を正常なリズムに戻すものです。音声だけでは使えない不安になるかもしれません。最近のAEDの中には、絵が出て指示してくれるものがあるので大丈夫ですよ。応急救護の時に、AEDと同じく大切なのが「胸骨圧迫」です。

今度、また講習会がありましたら、ぜひ体験してみてください。



消防署員によるデモンストレーション

